

|    |         |                     |
|----|---------|---------------------|
| 組織 | 会 長     | 菊 地 新 吾 (象 潟 小 学 校) |
|    | 副 会 長   | 田 村 稔 (上 浜 小 学 校)   |
|    |         | 三 浦 直 樹 (平 沢 小 学 校) |
|    | 事 務 局   | 木 内 衛 (本 荘 北 中 学 校) |
|    | 研 究 部 長 | 関 口 琢 也 (象 潟 小 学 校) |
|    | 会 計     | 須 田 秀 二 (由 利 中 学 校) |

## 主な事業

|             |            |        |   |
|-------------|------------|--------|---|
| 平成29年度造形部総会 | 4 / 13     | 造形部研修会 | 12 / 8                                  |
| 本荘由利児童生徒美術展 | 12 / 2 ~ 4 | その他    | 本荘由利小・中・高等学校の図画工作・美術の研究授業への参加 (各校研究授業等) |

## 研究会の記録

### 1. はじめに

各校の教科研究や地区の研究会等で造形部員それぞれが研鑽を積み、指導法の研究や児童生徒の作品がどうあるべきかを考察すること、また、教科別研究集会や研修・研究部会・児童生徒美術展・県児童生徒美術展平面作品審査への参加など、様々な形で積極的に研修に参加することを、当会の具体的な目標とした。

特に、児童生徒美術展は各校の造形活動の取り組みを紹介し合う機会であり、より幅の広い意味での情報交換の場となっている。また、奨励作品の審査・選出を通して作品の見方や造形活動の在り方について協議する活動の意義は大きい。

### 2. 各事業の成果

#### (1) 本荘由利児童生徒美術展 (12月2日～4日)

由利本荘市文化交流館「カダーレ」で開催した。テーマである「描くこと・つくることが大好き」を反映した個性豊かな作品が多く見られた。昨年同様、立体作品の充実には目を見張るものがあった。

出品作品の中から造形部がめざす作品を「奨励賞」として選出した。各小中学校の教職員及び、造形部員の熱心な取り組みと各校の協力で、運営面・作品の内容共により充実した展覧会となった。

カダーレを会場として実施するのは6回目ということで、3日間で1805名の来場があり、多くの方々に見ていただけた。

来年度は開催期間や広報活動、今年度実施した会場構成や作品管理の常駐を軌道にのせ、さらに地域の方々へ親しんでいただける展覧会にしていきたい。

#### (2) 造形部研修会(12月8日)

由利本荘市市民交流学習センター多目的ホールを会場に、県児童生徒美術展に出品する本荘由利の作品を選出する公開審査会として行った。26年度から立体作品の審査も行っているが、今年度から各校の出品数を事前に報告してもらうことで審査時間を短縮することができた。また、出品作品の保管も課題であったが、各校の協力により当日の審査後に再度作品を取りに来ていただくことができ、部員の負担を減らすことができた。

造形部員にとっては、児童・生徒の作品の傾向・良さ・課題について話し合う有意義な研修の場となり、今後の授業に役立つ多くの情報を得ることができたはずである。

#### (3) 本荘由利小・中・高等学校の図工・美術の研究授業への参加

造形部研究部長より本荘由利の小・中学校における年間の図工・美術の研究授業 (要請訪問・教科等指定訪問) の一覧表が造形部員に配布され、一覧表を見て造形部員が希望する授業を参観するようにしている。高等学校会場の参加機会も含め、分科会にも積極的に参加するように勧めている。